

— 町内農家の現状と集落営農を考える —

(農業に関する意向調査集計から)

日本の農業は、農業者の数が急速に減り、農村では都会以上のスピードで高齢化が進んでいます。このような状況の中で、今後の日本の農業を背負って立つことができるような、意欲と能力のある担い手を中心とする農業構造を確立することが“待ったなし”の課題となっています。

国では平成19年産から意欲と能力のある担い手に対象を限定し、その経営の安定を図る施策(品目横断的経営安定対策)に転換することとしています。町でも、担い手の確保・集落営農を推進するため、関係団体で組織する支援チームを中心に集落説明会や地域等での話し合いが進められています。

ここでは、農業振興地域整備計画の見直しのために、町が昨年7月に町内全世帯を対象に実施した「農業に関する意向調査」の集計結果を掲載します。

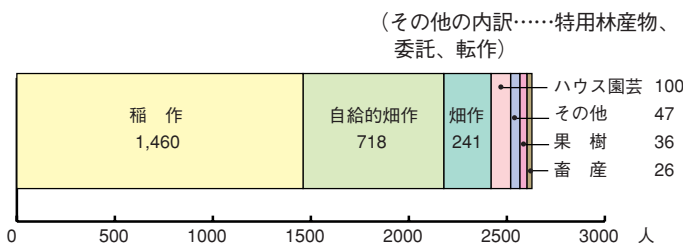
アンケート調査の内容を踏まえて、明日の美郷町農業を担うため、地域で集落営農を進めてみませんか？

② 農業経営意向調査

① あなたの家ではどのような農業に取り組んでいますか。

(複数回答可)

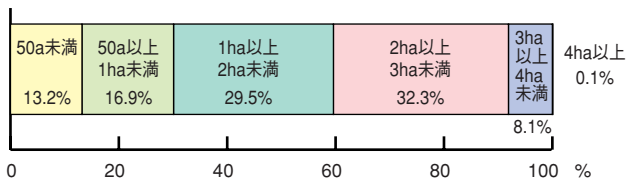
単位：人



稲作の回答が他を大きく引き離しており、回答した農家(1,600人)の9割が稲作に取り組んでいた。

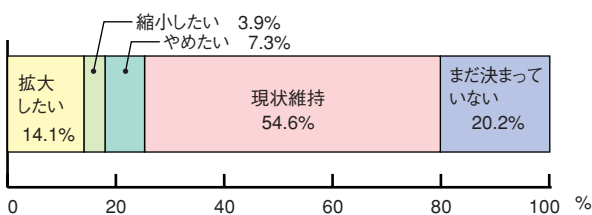
② あなたの家の経営面積はどのくらいですか。

(借入農地含む)



割合では、「1ha以上2ha未満」と「2ha以上3ha未満」で半数以上を占め、3ha以上経営している農家は少なかった。

③ 将来の農業経営をあなたの家ではどのように考えていますか。

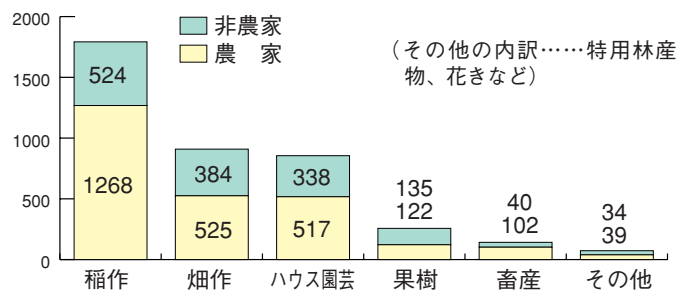


「現状維持」の回答が5割を超えている。「拡大したい」の回答は14.1%であった。

① 農業振興に関する意向調査

① 美郷町の農業の振興のためには、どの作目に力をいれべきと考えますか。(複数回答可)

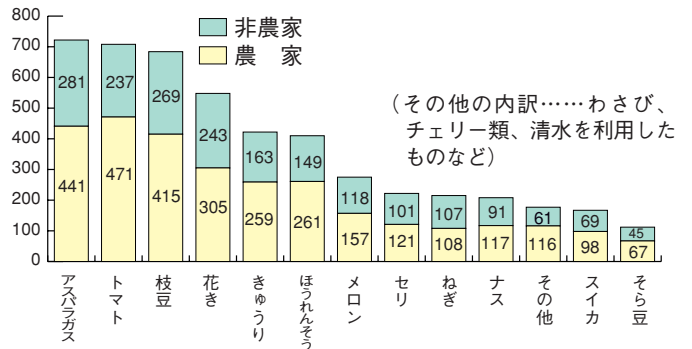
単位：人



農家・非農家ともに稲作の回答が多い。特に農家の回答が多い。非農家では、畑作、ハウス園芸の回答の割合が多い。

② 美郷町ブランド品目の内、あなたがもっと振興すべきと考えるものはどれですか。(複数回答可)

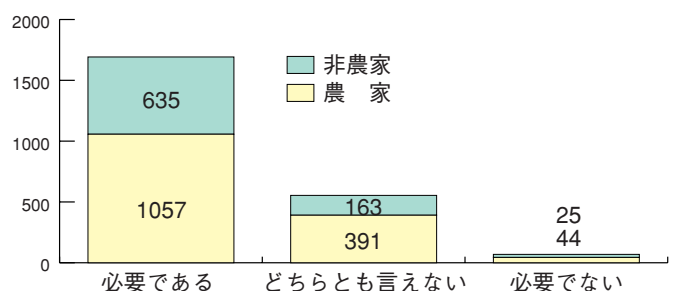
単位：人



総数では、アスパラ、トマト、枝豆の回答が多い。農家ではトマトの回答数が最も多く、非農家ではアスパラの回答数が最も多い。

③ 地産地消についてお聞きします。あなたは地産地消の推進についてどのようにお考えですか。

単位：人



回答者の7割以上が「必要である」と答えている。

現在の経営面積と将来の経営意向の関係

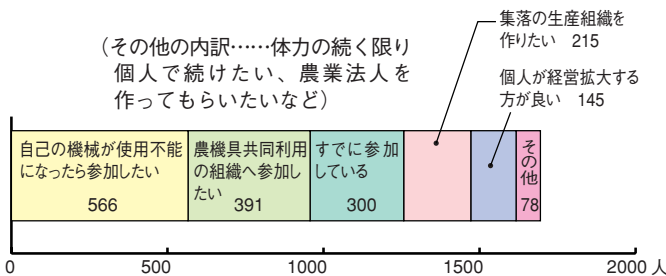
単位：人

経営意向	50a未満	50a以上1ha未満	1ha以上2ha未満	2ha以上3ha未満	3ha以上4ha未満	4ha以上	計
拡大したい	9	13	42	92	61		217
縮小したい	10	10	17	19	2		58
やめたい	38	28	25	19	3		113
現状維持	98	147	273	272	43	1	834
まだ決まっていない	42	61	96	93	17		309
無回答	9	5	8	11	1		34
計	206	264	461	506	127	1	

経営意向について「拡大したい」と回答した人の、現在の経営面積は2ha以上が多い。また、「やめたい」と回答した人の経営面積は50a未満が多く、現在の経営面積が経営意向に結びついている。

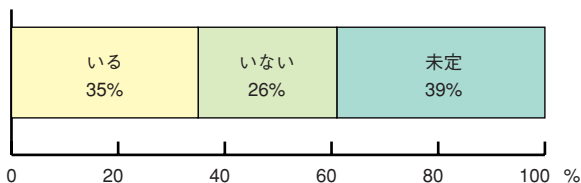
⑦ 全員にお聞きします。今後生産組織化や農業機械の共同化が推進された場合、あなたはどのようにお考えですか。（複数回答可）

単位：人



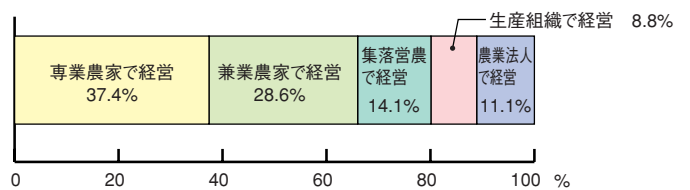
「自己の機械が使用不能になったら参加したい」の回答が多い。また、次いで「農機具共同利用の組織へ参加したい」が多い、農機具に係る回答が多かった。

⑧ 全員にお聞きします。あなたの家では農業の後継者はいらっしゃいますか。



後継者が「いる」、「未定」と回答した人の割合が多い。

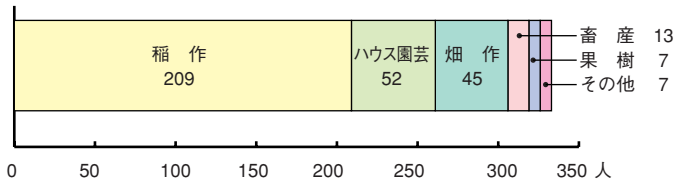
④ 3で拡大したいと答えた方にお聞きします。経営のかたちはどのように考えていますか。



「専業農家で経営」の割合が高く、4割近くの回答を占める。集落営農、生産組織、農業法人は回答の割合が低かった。

⑤ 3で拡大したいと答えた方にお聞きします。今後どのような部門を拡大していきたいと考えていますか。

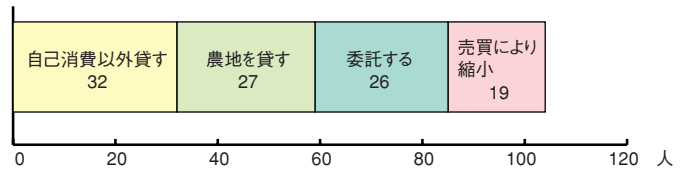
単位：人



取り組んでいる作目同様「稲作」の回答が非常に多い。「ハウス園芸」の回答は「畑作」よりも多く、取り組んでいる作目の回答順とは異なっている。

⑥ 3で縮小したいと答えた方にお聞きします。そのためにはどのような方法を考えますか。

単位：人



「自己消費以外貸す」や「農地を貸す」など賃貸による縮小が多く、売買による縮小は回答が少なかった。

アンケートの集計結果からもわかるように、今後は集落営農または担い手への農地集積が進むと思われます。集落営農等のご相談は、美郷町集落営農化等支援チームまでどうぞ。

役場(仙南庁舎)農政課 担い手対策班 ☎0187-84-4908
 J A 秋田おばこ 千畑営農センター ☎0187-85-4114
 六郷営農センター ☎0187-84-0440
 仙南営農センター ☎0187-82-1033
 J A 秋田ふるさと 金沢営農支援センター ☎0182-37-2124